

安心・安全の居住空間を目指して

ウイルスプロテクト

をおすすめします

「ウイルスプロテクト」の表面に抗ウイルス性のPVCフィルム層があり、製品の表面に付着したウイルスを減少させる効果があります。エンベロープを有するウイルスAIに効果的です。



医療施設



商業施設



オフィス



一般住宅



福祉施設



宿泊施設



教育施設

「抗ウイルス SIAA」取得

代表的なウイルスに優れた抗ウイルス効果を発揮

【抗菌製品技術協議会の「抗ウイルス SIAA マーク」取得】

- 製品上の特定ウイルスの数を減少させます。
- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- SIAAの安全性基準に適合しています。

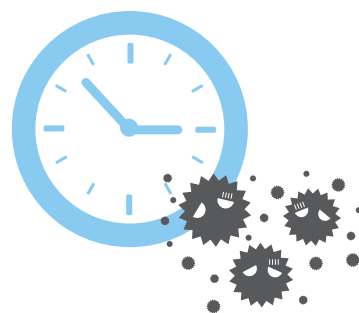


SIAAマークはISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

抗ウイルス性機能が長期間有効

- 抗ウイルス性機能を付与したフィルムを積層した構造で、活用可能範囲が広く、長期間効果が期待できる
- 光触媒不使用で、光のない場所でも効果発揮
- 細菌に対する「抗菌性」も有する

(※) 試験方法：JIS Z 2801「抗菌加工製品—抗菌性能試験方法・抗菌効果」に準拠
試験結果：大腸菌、黄色ブドウ球菌にて抗菌活性値 2.0以上

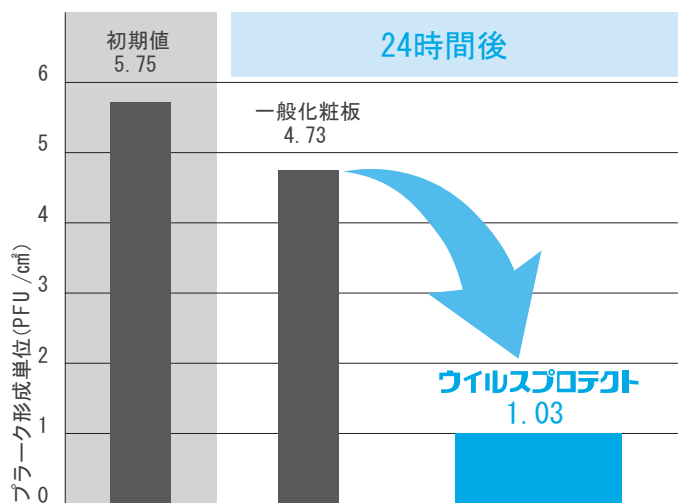


抗ウイルス効果

- 試験方法：ISO 21702：2019
 - 試験機関：一般社団法人ニッセンケン 品質評価センター
- ※数値などは測定値であり保証値ではありません

24 時間後の抗ウイルス活性値
(4.73 - 1.03 = 3.7)

抗ウイルス活性値 2.0 以上で SIAA 適合



エンベロープを有するウイルスAのウイルス活性値変化

抗ウイルス剤の安全性

【SIAAで求められる安全性基準をクリアしています】

- (1) 急性経口毒性…異常なし
- (2) 皮膚一次刺激性…無刺激物
- (3) 変異原性…陰性
- (4) 皮膚感作性…感作性無し

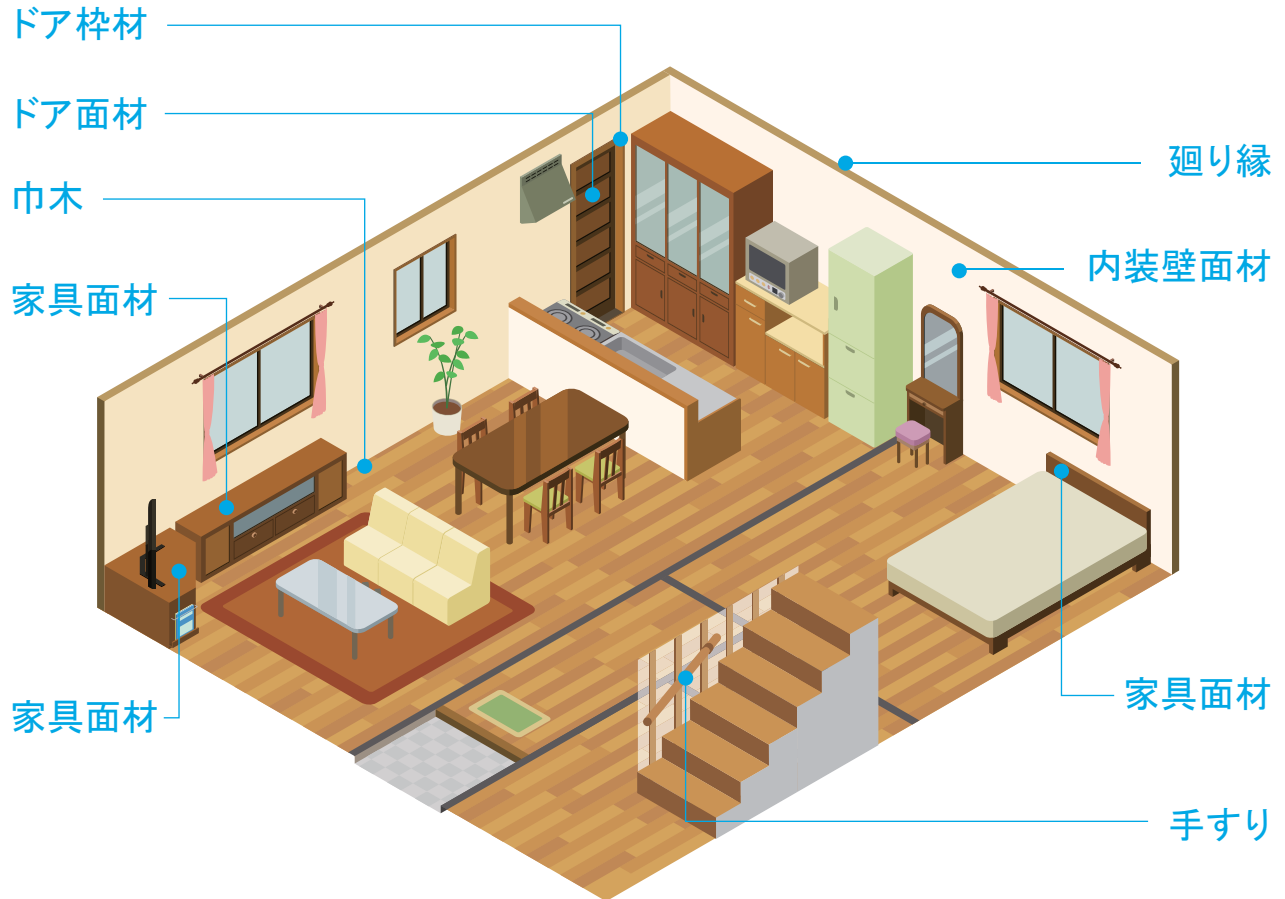
【同種フィルムによるヒトパッチテストで「安全品」と評価】

- 試験フィルム…同種抗ウイルス剤を用いた軟質PVCフィルム
- 試験機関…株式会社生活科学研究所
- 試験方法…ヒト皮膚に対する24時間の閉塞貼付(被験者20名)



ウイルスプロテクトの用途

お勧めする用途



お勧めできない用途

- 屋外や半屋外向けの建材
- 水回り設備向け～浴槽、便器、浴室、洗面器、浴室手すり、キッチンカウンター、など

ご使用になる前にお読みください

- 「ウイルスプロテクト」を使用することで、感染症対策になるわけではありません。衛生的な住環境を維持するためのひとつのアイテムとしてご使用ください。
- すべての細菌・ウイルスに効果があるわけではありません。
- フィルムの表面にワックス塗布や各種印刷やコーティングなどを施した場合、抗ウイルス効果を発揮しにくい、あるいはできない場合があります。
- 内装用途向けの為、室外・半室外での用途には使用しないでください。
- やかん・鍋などの熱いもの、また確実に擦り傷の原因になるようなものを置く用途には使用しないでください。

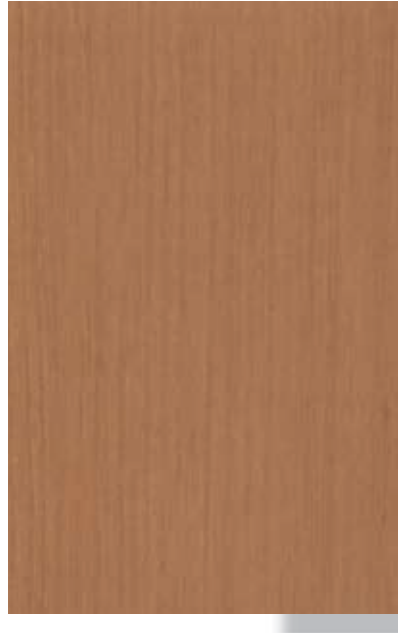
- 表面に付着した汚れを落とす場合は、水拭きまたは薄めた中性洗剤をご使用ください。溶剤などをご使用になりますと表面を侵す原因になります。また、アルコールをご使用になりますと抗ウイルス効果が一時的に低下する場合があります。
- 直射日光が連続照射されるような部位や、高温が発生する熱源の近くでのご使用は避けてください。
- 化粧シート表面にポスター等を止めるテープ・画鋏のような傷がつくものは使用しないようお願いします。
- 長時間皮膚へ接触は避けてください。
- ご使用中に万一お肌に異常を感じた場合は直ちにご使用をおやめ頂き医療機関にご相談ください。
- 肌が弱い方、アレルギーをお持ちの方はご使用しないでください。

抗ウイルス性内装壁面材

JAS F ★★★★★



VP-601
ニューオリンズ チェリー



VP-602
オクラホマ バーチ



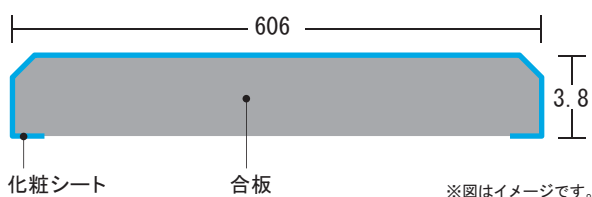
VP-603
スプリングフィールド ナット

サイズ

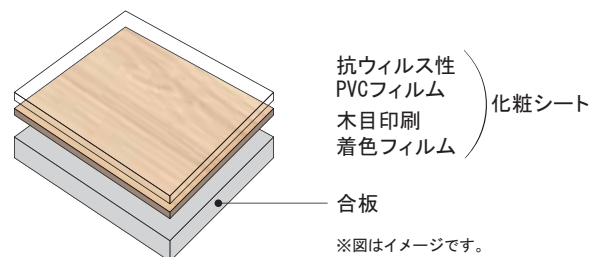
品名	品番	柄名	サイズ(mm)	梱包入数
ウイルスプロテクト	VP-601	ニューオリンズ チェリー	2430X606X3.8	8
	VP-602	オクラホマ バーチ	2430X606X3.8	8
	VP-603	スプリングフィールド ナット	2430X606X3.8	8

断面図 (単位 mm)

●こばまき



ウイルスプロテクトの構成



物性表一覧

表1 「ウイルスプロテクト」化粧シート(表層)半硬質Sタイプ 耐薬品性・耐汚染性

性能	試験項目		抗ウイルスフィルム物性データ	試験方法
			半硬質Sタイプ	
耐薬品性	無機酸	硫酸40%	○	JIS A・1454 <評価基準> ○：変化なし △：わずかな変化 ×：大きな変化 材質：材質やや変化あり ツヤ：ツヤ変化あり
		塩酸36%	○	
		乳酸20%	○	
	有機酸	NaOH30%	○	
		アルカリ	炭酸Na10%	
	塩類		次亜塩素酸Na 塩素濃度200ppm	
		有機溶剤	酢酸エチル	
	ホワイトガソリン		材質△	
	ジクロロエタン		材質△	
	メタノール		○	
殺菌消毒剤	クレゾール石鹼液3%	○		
	イソジンフィールド	○		
防汚性	汚れの つきにくさ・ 落としやすさ	コーヒー	◎	<評価基準> ◎：水で拭きとれる ○：エタノールで拭き取れる △：エタノールで拭き取り後、 若干シミが残る ×：エタノールで拭き取り後、 シミが残る
		醤油	◎	
		水性サインペン	◎	
		エタノール	◎※材質変化	
		油性マーカー	△	
		タバスコ	△	
		クレヨン	△	

*材質変化・・・若干波打ったような変化

※数値などは測定値であり保証値ではありません

表2 「ウイルスプロテクト」化粧シート(ダブリングフィルム) 一般物性表

性能	単位	方向	物性データ	試験方法
耐摩耗性	mg	摩耗減料	32.5	JIS K7204 9.8N/1000回/mg
耐傷性	Feウール	傷有無	傷を認めない	スチールウール#00、荷重3Kg/30回往復
	鉛筆硬度		2B	
引張弾性率	Mpa	縦	1420	JIS K7127 引張速度：10mm/min
		横	1240	
破断応力	Mpa	縦	44.4	JIS K7127 引張速度：200mm/min
		横	34.1	
加熱収縮	%	縦	-4.6	JIS K7133 70℃、5分 縦・横寸法変化
		横	-0.1	
耐光(候)性	色差判定	色調ほか	5	JIS K1454 キセノン：照射150時間 JIS K7350-2 グレースケール
耐湿熱性	外観検査	状態確認	異常なし	40℃±2、90%±RH、48時間放置
耐白化性	外観検査	有無	白化を認めない	25℃±2/恒温室/2hr放置、90度折り曲げ

※数値などは測定値であり保証値ではありません

表3 日本農林規格(JAS) 特殊加工化粧合板「W」タイプ物性試験結果

主な試験項目	試験内容	規格	判定
摩耗C試験	化粧シートの摩耗程度を見る	化粧面の模様が50%以上残っていること	適合
寒熱繰返しC試験	化粧シートの温度変化の程度を見る	試験の結果、試験片の表面に割れ、膨れ、剥がれ、並びに変色及び艶の変化無き事	適合
耐水C試験	化粧シートの耐水程度を見る		適合
平面引張り試験	合板と化粧シートの接着程度を見る	試験片の接着力が0.4N/mm ² 以上のこと	適合
二類浸漬剥離試験	合板と化粧シートの接着程度を見る	合板の剥離しない部分の長さが50mm以上のこと	適合
含水率	含水率を確認する	含水率が13%以下のこと	適合

合板はホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆使用

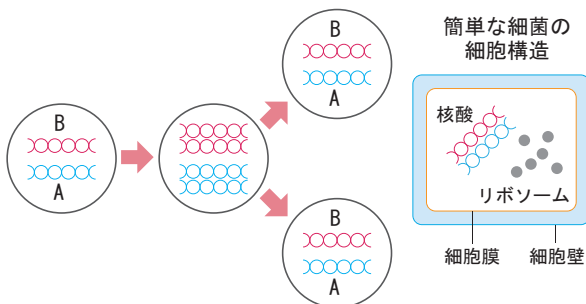
[ご参考] 知っておきたいウイルスの知識

細菌は単純細胞生物ですが、ウイルスは遺伝子が入ったタンパク質の塊です。細菌は単独で増殖＝細胞分裂しますが、ウイルスは遺伝子しか持っていないので単独では増殖できず、生物の細胞に入り込み自らの遺伝子を複製させて増殖します。

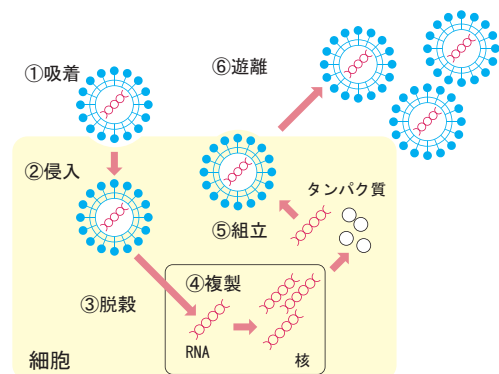
	細菌	ウイルス
構造	基本的に単細胞生物	遺伝子が入ったタンパク質の塊
代表種	黄色ブドウ球菌(MRSA) ・病原性大腸菌(O-157)など	インフルエンザウイルス ・ノロウイルスなど
増殖するとき	細胞がなくても増える	人や動物などの細胞の中で増える
増殖	栄養源があり、環境が整えば 自己で分裂増殖する	他の生物に入り込んで、 宿主の力をかりて増殖する

細菌の細胞

細胞分裂により、2のn乗で増えていく



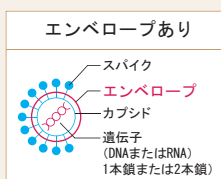
ウイルスの増殖機構



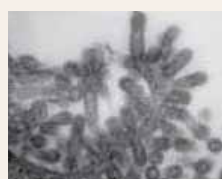
[ご参考] 代表的なウイルス

インフルエンザウイルス

インフルエンザは発病する前日から発病後3~7日間程度は、感染力(人にうつる力)があるとされています。インフルエンザ患者のせきやくしゃみなどとともにインフルエンザウイルスが小さな飛沫(しぶき)となって空気中に飛び散り、これを周りの人が吸い込むことや、インフルエンザウイルスが付いた手で、目や口を触ることで感染します。また高齢者や乳幼児は重症化しやすいので特に注意が必要になります。



- ・インフルエンザウイルス
- ・ヘルペスウイルス
- ・風疹ウイルス
- ・HIVウイルス など

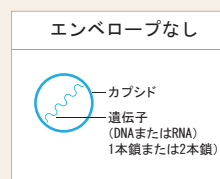


鳥インフルエンザ顕微鏡写真

出典:NARO 動物衛生研究所ホームページより
http://www.naro.a7rc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niah/019930.html

ノロウイルス

ノロウイルスによる下痢症は、ウイルスに起因する集団食中毒発生事例の95%を占めます。また、冬季に流行する感染性胃腸炎の主要な原因ウイルスでもあります。一般的には軽症で経過しますが、高齢者、乳幼児においては下痢、嘔吐による脱水あるいは誤嚥性肺炎で重症化し、場合によっては死に至ることもあります。一般的に食中毒細菌では1万から100万個で感染・発病しますが、ノロウイルスは10個程度で感染・発病すると言われています。



- ・ノロウイルス
- ・ロタウイルス
- ・アデノウイルス
- ・ポリオウイルス など



ノロウイルス電子顕微鏡写真

出典:岡山県 感染症情報センターホームページより
<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-92000.html>